

## Hospital 病院クローズアップ

## 国立病院機構

## 東名古屋病院

職員には、ずっとここで働きたい、そして患者さんには  
当院ですっと診療を受けたいと思っただけの病院に。

当院は、もともと結核の専門病院で、今も呼吸器感染症が中心です。愛知県の結核最終拠点病院として多剤耐性結核病床3床が指定されています。国立病院機構の中でも、結核に関しては中心的な役割を果たしているのではないかと自負しています。最近では結核以外に非結核性の抗酸菌症、肺真菌症、ウイルス感染症なども対象となっています。その他、神経変性疾患、脳卒中、重症心身障害に対する専門的な医療を提供しています。

神経変性疾患については、入院患者数が一番多い診療科は神経内科です。ALS、進行性核上性麻痺、パーキンソンなどの疾患が多く、その診断と治療に精力的に取り組んでいます。

2013年12月には「ぬくもりサポート館」という病棟をオープンし、総合リハビリテーションセンターを設けました。そこでは脳卒中、神経変性疾患、運動器疾患、内部障害、がん、重症心身障害、発達障害、整形外科の手術後のリハビリテーションなどを受け入れています。リハビリテーションに興味を持っていらっしゃる研修医には最適な環境です。

重症心身障害児の医療に関しては、50床ですが、長期在宅患者とショートステイの受け入れをしており、小児科医2名が担当しています。

今後取り組んでいきたい分野ですが、まず1つは地域包括ケアシステムです。いわゆるポスト急性期といわれる患者さんと、リハビリテーション目

的の患者さんに対応すること。もう1つは、地域の在宅医が訪問診療している患者さんや老人福祉施設の入所者が病状悪化した時の、入院診療が必要な患者さんの引き受け体制。その2つの方向で、地域包括ケアシステムの中心的役割を担いたいと考えています。2013年1月から地域包括ケアシステム勉強会という多職種連携研修会を立ち上げていまして、2015年4月からは行政のほうに移り、名古屋市名東区が主催する多職種連携研修会、地域包括ケア研修会に移行して継続されています。

若手の先生に対してのアドバイスですが、今の学生さんは、知識が豊富でかなり勉強もされています。ただコミュニケーションの苦手な方が多いように感じます。それは医者同士のコミュニケーションだけでなく、他職種の方とのコミュニケーションについても同様です。コミュニケーション力は若い時から努力を続けていけば身につくと思いますので、最初は苦手だと感じていても、いろいろな人や会に積極的にかかわると良いかと思います。その経験は将来必ず役に立つでしょう。

当院には現在38名の医師が在籍しています。大きな病院に比べると少ないですが、どの診療科の医師もお互いの顔と名前をよく知っていますので、患者さんのことなどを相談しやすいという関係性があります。研修医の方がどの診療科にいられても、アットホームで親しみやすい環境だと思います。



## 院長PROFILE

今井 憲夫 (いまい けんお)  
1953年生まれ。78年名古屋大学医学部卒業。  
93年名古屋大学医学部第2外科助手、2004年名古屋大学医学部  
附属病院乳癌・内分泌外科科長、2013年愛知医科大学乳癌・内  
分泌外科教授(特任)、2015年愛知医科大学医療安全管理室教  
授兼任を経て、2016年東名古屋病院院長に就任。  
2014年より、日本甲状腺外科学会理事を務める。

## 東名古屋病院 DATA

## ■所在地

愛知県名古屋市名東区梅森坂5-101  
<http://www.toonagoya.jp/>

## ■病床数

468床

## ■診療科目

内科/神経内科/血液・腫瘍内科/精神科/呼吸器内科/消化器内科  
/循環器内科/内分泌内科/アレルギー科/小児科/外科/整形外科  
/呼吸器外科/脳神経外科/皮膚科/リハビリテーション科/リウマ  
チ科/放射線科/歯科口腔外科/麻酔科/泌尿器科/乳癌外科/乳  
腺・内分泌外科/耳鼻いんこう科

## ■研修の特色

呼吸器内科は、診療だけでなく、研究も積極的に行っています。特に呼吸器感染症に関する研究については、ご本人の希望があれば、日常臨床だけでなく、研究の指導もできます。神経内科は、愛知県でも神経変性疾患が集まってくる拠点になっており、特殊な症例も含めてさまざまな神経変性疾患を経験できます。



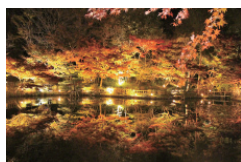
「あたたかい気持ちでサポートしたい」から命名したぬくもりサポート館



全国の機構病院では唯一のリハビリテーション学院



呼吸器内科カンファレンスの様子



東山動物園夜景

## 東名古屋病院のある街

## 開発めざましい名古屋のベッドタウンだが、元はのどかな田園地帯

東名古屋病院のある名古屋市名東区は名古屋市の東部に位置し、人口約16万人の地方都市だ。かつてはのどかな田園地帯だったが、近年、大規模な土地区画整理や地下鉄の延伸、高速道路の整備が行われ、ショッピングモールが開業するなど利便性も向上し、名古屋市ベッドタウンとして発展している。

周辺には愛知万博の会場になった愛・地球博記念公園や、かつて周辺は尾張徳川家の御狩場で、現在は渡り鳥の飛来地として知られる牧野ヶ池緑地などがあり、自然が残っている地域だ。香流川緑道には散策コースが整備され、夏はホタ

ル、冬は鴨などが飛来する。両岸に2キロにわたって続く桜並木があり、季節のいい時期はのんびりと散歩したり、サイクリングにもってこいだ。

名古屋といえば名物もたくさんある。ひつまぶし、味噌カツ、手羽先揚げ、きしめん、味噌煮込みうどん、エビフライ、ういろう、天むすなど、紹介しきれないほど。ただ、なんといっても有名なのはモーニングだ。朝はコーヒーを注文しただけでパンやゆで卵が付いてくるが、これがサービスだというから驚く。店によっては甘味やサラダが付いてくることもあるので、名古屋を訪れたらぜひ足を運んでみては。

